

～高松市の未来を話そう！

高松第一高等学校生徒と高松市議会議員による意見交換会～（第1回目）

日時：令和3年11月1日（月） 午後3時40分～午後5時

会場：高松第一高等学校

【午後3時40分】

音楽科棟のムジカホールにて全体会を開催。

司会は、高松市議会 中村議会運営副委員長

まず、高松市議会 十川議長が挨拶し、続いて、高松第一高等学校の細川校長から御挨拶をいただきました。

そして、高松市議会 小比賀議会運営委員長から交換会の進め方等を説明し、その後、テーマごとに分かれたグループで意見交換をするために、会場を移動しました。



【午後4時】

グループごとに高松市議会の各常任委員長が中心となって意見交換会を開始

グループ1（総務常任委員会）

（新校舎棟 大会議室にて）

テーマは、「自治会加入率向上を目指して」

まず、辻副委員長からテーマの概要を説明し、橋本委員長の司会で4人の一高生と意見交換をしました。

一高生からは、「古いしきたりが多く、若い世代が加入しにくい。」や「自治会役員の負担が大きい。」など、率直な意見が出されたほか、「ハロウィンでお菓子を配るイベントをすれば、子供と高齢者のふれ合いの場になるのではないか。」や「自分が引っ越してきた時に自治会長が親切に地域の情報を伝えてくれて助かった。そのような取組があれば自治会加入も増えるのではないか。」などの提言もいただきました。



グループ2（教育民生常任委員会）

（新校舎棟 アクティブ ラーニング ラボにて）

テーマは、「認知症の人とその家族を地域で支えていくために」

まず、斉藤副委員長からテーマの概要を説明し、田井委員長の司会で4人の一高生と意見交換をしました。

一高生からは、「コロナの自粛で触れ合う機会が少なくなり孤独化が進んでいる。相談できる環境が必要では。」や「自分から遠く感じる。知る機会、話ができる機会が必要。」「学校でも、講演会などで認知症について知る機会があれば良い。」「高校生も参加できるボランティアがあれば参加したい。」など積極的な意見・提言をいただきました。



グループ3（経済環境常任委員会）

（新校舎棟 第1小会議室にて）

テーマは、「プラスチックごみから、きれいな海と生き物を守るために」

まず、住谷副委員長からテーマの概要を説明し、坂下委員長の司会で4人の一高生と意見交換をしました。

一高生からは、「マイボトルを広めるためには、どのような取組が必要か。」などの問題提起があり、議員と意見交換をしたほか、「プラスチックごみ問題への関心を高めるためには、どうしたらいいか」との問題には、「高校生は、あまりホームページなどは見ないので、インスタ等のSNSを活用すれば、見てもらえるかもしれない。」などの貴重な意見もいただきました。



グループ4（建設消防常任委員会）

（新校舎棟 第2小会議室にて）

テーマは、「消防団への加入促進と取り巻く環境の向上について」

まず、山下副委員長からテーマの概要を説明し、香川委員長の司会で3人の一高生と意見交換をしました。

一高生からは、「消防のイベントは、見たことがあるが、消防団についてはあまり知らない。」として、「もっとアピールが必要。」との意見や、「消防団は、年寄りの集まりのようなイメージがある。若者が中心となってサークルのようにできないか。」「学校でもっと知ってもらいたい。」「消防団の報酬や手当は少なすぎるのではないか。」など、さまざまな意見・提言をいただきました。



【午後4時45分】

再度、音楽科棟のムジカホールに集合し、各常任委員長から、グループごとの議論の概要等を発表して、第1回目の意見交換会を終了しました。



【午後5時】

意見交換会終了後、音楽科生徒による演奏等を披露していただきました。ソプラノ独唱・ピアノ独奏・フルート独奏、どれも素晴らしい演奏でした。ありがとうございました。

